



Contents もくじ

【特集】

未来へ継承

柏原藩陣屋跡の歴史 2～5

まちかどとぴつくす 6

デマンド（予約）型タクシー利用者が
1万人を達成 ほか 7

丹波市自治基本条例素案タウン
ミーティング ほか 8

こちら市長執務室 9

ちいきの元気を発信中！ 10～11

教育たんば 12～14

人権のとびら ほか 15

イベント情報 16～17

健康生活 18～19

情報ひろば 20～23

たんば GO!GO! フェスタ 2011 24

【表紙の紹介】

1歳6ヶ月児検診、3歳児検診

9月7日（水）、9日（金）に、乳幼児の発育の状況などを確認する検診が行われました。みんなお父さんやお母さんといっしょにおもちゃで遊んだり、絵本を読んでもらったりしながら先生の診察を待っていました。



信包役を好演された俳優 小林隆さん
■写真提供：NHK

1

■ Interview ～陣屋跡への思い～

保存されている陣屋跡は全国でもわずかですが、その中でも柏原藩陣屋跡は陣屋の長屋門と表御殿の両方が現存している唯一の文化財です。これまで先代の方々が大切に守ってきたこの貴重な遺産を、次の世代に受け継いでいくことが私たち委員、また、地域のみなさんの願いです。ここ陣屋跡は、歴史遺産であると同時に、私にとっても小学生のころ学校として通い多くのこと学んだ思い出深い場所です。今の子どもたちにもこの生きた歴史教材を大いに活用し、身近にある文化財に親しんでもらいたいですね。



柏原藩陣屋跡整備委員会
委員 竹内 脩さん (69)



◎ 萌葱系威六枝胴具足
柏原藩四代織田信憑所用の具足と伝えられています。



◎ 崇廣館木額
安政5年(1858)、陣屋内に開校した藩校の校舎に掲げられていた木額。



※いずれも、柏原歴史民俗資料館所蔵

◎ 柏原藩政日記

柏原藩主織田家の旧領であった大和国松山藩時代から書き続けられている公式日記。藩主とその家族の動向や経済状況、柏原藩の民俗行事に関する記述などもある貴重な資料です。

織田家柏原藩が現代に残した伝統の品々

陣屋の正門にあたり、火災を免れた表御門は、正徳4年(1714)に信休により建造されたものが現存しています。両側から、通称「長屋門」と呼ばれています。正面左側に土間・右側に馬見所・砲庫側があります。砲庫部と馬見所・砲庫



陣屋の正門にあたり、火災を免れた表御門は、正徳4年(1714)に信休により建造されたものが現存しています。両側から、通称「長屋門」と呼ばれています。正面左側に土間・右側に馬見所・砲庫側があります。砲庫部と馬見所・砲庫

火災の後、4代信憑が再建したものが現存しています。藩主が藩士や来客と対面する際など、公的な儀礼の場として使用された所です。なお、現存する部分は当時の約5分の1と

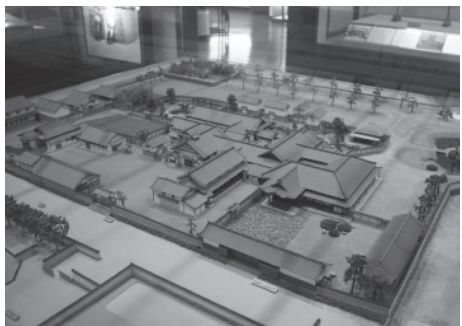


表御殿

■ 現存する建物は表御門(長屋門)と表御殿

～むかしと今～
柏原藩陣屋跡の概要

柏原藩陣屋は防備のための堀や土塀はなく、高い堀をめぐらしているだけでした。そして、表御門をはじめ、7カ所の門が設けられていました。陣屋内には表御殿、中御殿、奥御殿からなる主屋、藩政を執行する御用所、その他に台所、蔵、作業所などの建物がありました。さらに、陣屋内には神社や馬場、訓練所などのさまざまな施設が集められていました。安政5年(1858)に、藩校「崇廣館」が創立され、文武両道の教育が実践されました。その校名と伝統は、明



当時の陣屋は、東西130m、南北160mに広がり、現在の柏原総合庁舎なども含む広大な敷地を有していました。(柏原歴史民俗資料館所蔵)

治期に陣屋の跡地に創立された「崇広小学校」へと受け継がれました。

- 柏原藩陣屋跡整備工事 -
主な工事をピックアップ

〔総工事費〕2億4,100万円

表面表示整備工事

現存していない建物の位置や間取りを、コンクリートを敷き詰めて再現しました。それぞれの部屋にはその名称をプレートで表示しています。畳の間を黄色、板の間と廊下を灰色で表しています。



特徴的な部屋などの跡地には、その役割や歴史などを記した案内板も設置

表御殿桧皮葺屋根改修工事

老朽化により、全面的に屋根の葺き替え工事を行いました。桧皮葺は京都の清水寺などでも見られる、ヒノキを使った日本古来の伝統工法です。



カイツカイブキ移植工事

カイツカイブキは江戸時代の陣屋にはなく、明治期に植えられたものであるため、玄関前から移植。史跡外への移植も検討されましたが、地域の人々にとって愛着のある樹木でもあったため、陣屋の北側に移植しました。



表御殿の玄関前にあったものを陣屋北側に移植しました

■ 織田まつり



時代行列などが柏原の町を練り歩き、迫力満点の柏原藩陣太鼓の演奏などが行われます。丹波の秋の味覚が味わえる「うまいもんフェスタ」も同時開催。

■開催日 10月16日(日)
※うまいもんフェスタは15日(土)、16日(日)

織田家廟所



明治維新後に廃寺になった織田家の菩提寺である徳源寺の境内にあります。後期柏原藩の初代信休から九代信民まで、歴代の藩主とその家族が葬られています。

■ 太鼓やぐら



柏原藩の時代、時報を知らせる時や参勤交代を終え、藩主が江戸から帰藩する時の合図に使われました。諸説によれば初代信休が国替えの際に、松山藩から運ばせた物といわれています。なお、太鼓やぐらは明治期初頭に、現 柏原自治会館付近から現在の場所に移されました。

織田家柏原藩にまつわる
名所・祭りもチェック